



入江あき子

いのちと暮らし、守り抜く —— 当事者の声を政策につなげます ——

特集 政策対談

熊谷俊人
千葉県知事入江あき子
県議会議員

災害から県民を守る

入江あき子

令和7年度当初予算では、地域防災緊急整備事業の中でトイレカーやパークーション等の確保が新規に盛り込まれました。これまで私たち会派が様々な機会を通じて提言してきたトイレ専用車両やキッキンカーの導入、段ボールベッドの普及など、被災者のプライバシーが守られる避難所の実現に近づいたものと捉えています。

熊谷知事は高校2年生の時に阪神淡路大震災で被災されたこともあります。とりわけ防災に力を注がれていますが、知事の防災への向き合い方について、お聞かせください。

くまがい俊人

私はこれまで豊富な災害指揮経験を活かし、各種災害に即応してきました。2023年の豪雨災害では直ちに対策本部を設置し、発災翌日には被災地に入り、全県から応援職員を派遣しました。また、河川整備などを着実に進め、能登半島地震を教訓に「半島型地震」への備えも強化しています。今後も河川整備、土砂災害・津波対策、無電中華を推進し、万全の体制で県民を守る「防災県 千葉」を確立します。さらに、入江さんたちが提唱していたトイレカーの整

2021年春、熊谷俊人知事が千葉県の新たなリーダーとして就任し、県政は大きく動き出しました。この4年間で、熊谷知事の公約「県政ビジョン」に基づき、どのような成果や変化があったのかを振り返ります。私たちは、知事と価値観を共有する会派として、切磋琢磨しながら議会等での議論を通じ、政策の実現を進めてきました。今回は、知事との政策対談を特集します。

備、避難所の個室化、災害時の障害者・高齢者の非難の支援など、きめ細やかな災害時支援を確立します。

超高齢化時代に対応した 医療・福祉の充実

入江あき子 私は県議会の健康福祉常任委員会に所属し、これまで医療現場で働く方々のご意見・ご要望を県政に届け、県立病院の持続的運営や医師確保策等についても、政策提言してきました。千葉県では、特に医師・看護師や介護職の人手不足に悩まされていますが、知事は将来の医療・福祉の充実について、どのようにお考えでしょうか?

くまがい俊人 私は知事就任後、地域医療を担う医師の確保、小児救急電話相談の対応時間の拡大、妊娠婦一斉照会システムの導入などを手がけ、また介護人材の確保対策、医療的ケア児等支援センターを設置し、支援体制を強化してきました。

今後、住み慣れた場所で安心して医療・介護が受けられる千葉県づくりや小児科医の確保緊急支援事業を創設するなど、さらなる医師確保に取り組みます。さらに、県立保健医療大学の充実や大学院設置を検討し、千葉県の保健医療を支える医療・福祉人材の育成を強化する決意です。

多様性を尊重する千葉県へ

入江あき子 昨年1月1日から「千葉県多様性尊重条例」が施行されました。これは会派で継続的に取り上げ、条例制定を求めたダイバーシティ推進のための条例です。

くまがい俊人 私は千葉市長時代、県内で最初にパートナーシップ制度を始めるなど、多様性を尊重する行政を行ってきました。知事就任後、全国で唯一、男女共同参画条例

が制定されていない千葉県の状況を改善したいと考え、入江さんや立憲民主党の県議団にも応援頂きながら、男女の性別の違いを含め、国籍、障害の有無、性自認など、まさに様々な違いを互いに理解、共に支え合う社会の実現を理念化した条例を制定することができました。

女性職員の登用も積極的に進め、女性幹部職員は過去最多になっています。今後とも、男女共同参画、障害者施策の充実など、多様な人々が活躍できる千葉県をつくりしていく決意です。

対談を終えて

「対話による現場主義」により、県政改革を進める熊谷俊人知事。

引き続き、知事と県議会が切磋琢磨しながら政策を議論し、「千葉に住んで良かった」と思える県政にしていきたいと思います。

入江あき子も「まずは現場へ」。当事者の声を課題解決や政策提言につなげるため、引き続き熊谷知事と連携して取り組んでまいります。



プロフィール

1965年

宮城県仙台市生まれ

1988年

国際基督教大学(ICU)教養学部社会科学科卒業

2003年4月～

佐倉市議会議員

2011年4月～

千葉県議会議員

現在

千葉県議会議員 4期目

健康福祉常任委員会委員

会派「立憲民主党千葉県議会議員会」会長

立憲民主党千葉県連 副幹事長・組織委員長

連合千葉議員団会議所属

千葉県地方自治研究センター所属

千葉県議会地震・津波対策議員連盟所属

千葉県議会資源エネルギー問題懇話会所属

千葉県議会不登校児童生徒の教育機会確保・支援推進議員連盟

全国災害ボランティア議員連盟所属

入江あき子事務所

〒285-0846 佐倉市上志津 1621-8 (2階)
電話 / 043-420-8758
fax / 043-420-8759
mail / akiko.machi3@gmail.com

いのちと暮らし、守り抜く

詳しくはこちらをご覧ください

